

「山武における教育予算の実態 2016」を配布！

2016年度の山武支部教育予算改善プロジェクト委員会がまとめた、「山武における教育予算の実態2016」を本日、分会に1冊ずつ配布しました。

プロジェクト委員のメンバーである、増穂北小 高篠先生、片貝小 池田先生、芝山中 高崎先生の3名の事務職員の先生が、**山武郡市内の教育予算について詳しく調べ、予算がどのように使われているのかを細かく分析しました。**わかりやすいようにグラフを多く使用しています。(3名の先生方、ありがとうございました。)



みなさんも是非、一度手にとって、自分たちの市や町の教育予算がどのようなになっているのか、実態を知ってください。

そして、意見でも感想でも、分会長さんにお伝えください。今後の教育予算拡充に向けての様々なとりくみに生かしていきます。

知っておこう！ 基準財政需要額！

国では、教育の機会均等を図るため、全国どこでも、この学校規模だったら、消耗品費はこれぐらい、図書費はこれぐらい・・・と基準を定めています。それが、**基準財政需要額**です。さらに、この定めた金額に見合うよう、都道府県の税収に不足がある場合は地方交付税という形で補っています。したがって、どんな貧乏な町でも、基準となる教育予算分の財源はあるのです。

しかし、市町の都合で予算のバランスから、教育予算としてあるものを、他のもの、例えば道路に使ってしまうようなことがたまにあるのです。基準財政需要額充足率が100%ならOK！もし、100%を切るようなら、その項目については、全国基準を満たしていないのです。

★図書費（小・中学校別）基準財政需要額に対する充足率の推移

	<小学校>	<中学校>
2015年度	101%	77%
2016年度	99%	81%

子どもたちのための予算。まずは関心を持つことから始めましょう！

図書費の充足率は小学校で約100%、中学校に至っては、約80%です。わずかながらに微増しています。

山武支部報

山武支部
情宣部
TEL 175-82-2708

プロジェクトの経過

千教組は1995年に教育予算改善プロジェクトを発足させました。山武支部では、これに伴い、子どもたちの最善の利益の保障の実現をめざし、市町村教育予算増額の運動を柱とし、97年1月に「山武支部教育予算改善プロジェクト準備会」を発足させ、97年度より「山武支部教育予算改善プロジェクト」の本格実施となりました。